

ふるさと通信 Vol.51

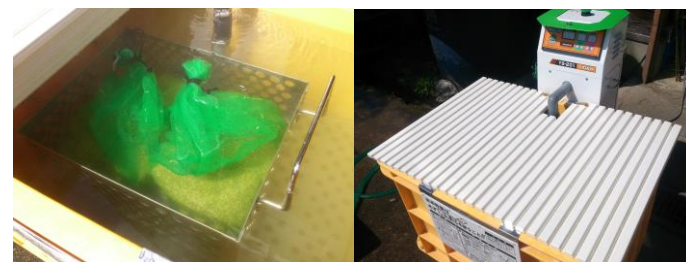
2015年4月



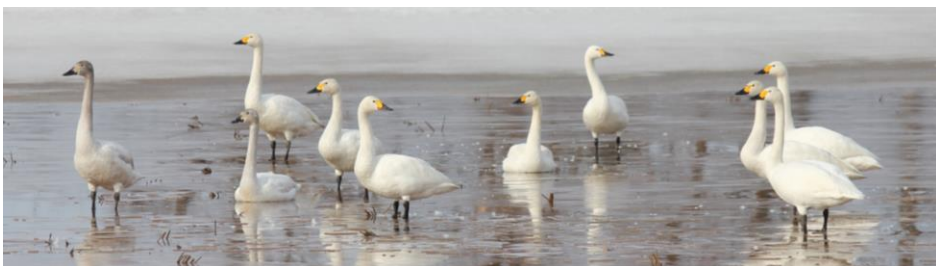
除雪機をご近所から借りて苗場の雪飛ばし。

3月、雪国の春は遅くて短く、そして急激です。深々と積もった田んぼの雪がみるみるかさを減らし、田んぼが顔を出すとたくさん白鳥たちが訪れ、あっと言う間にフキノトウやツクシが太陽を待ちきれなかったように生えて来ます。その急激な変化とともに、スジ播き、田植えに向けた準備も次々と出てくるので、僕も慌てふためくように過ごしています。もうこれからは、仕事は増えるばかりでいつもてんこ盛り状態ですが、今年も無事に田植えの時期を迎えられるよう頑張りたいと思っています。

農薬を使わず、60℃のお湯で種籾を殺菌。



良い芽が出揃うよう、酸素を切らさないよう注意しながら、10℃の水で約10日間、種籾を水に浸けておきます。



多いときは200羽程の白鳥が田んぼに訪れます。春は恋の季節か、ときおり、輪や列になり、ダンスをするように羽を大きく広げ、天に向かって鳴く姿を見ることが出来ます。

畦に生えたフキノトウ。春の香りと苦みがたまりません。なかなか摘むタイミングがないのですが、年1回は天ぷらとフキ味噌にさせていただきます。



今回のサービス品は、バアバ手作りの「切り干し大根」です。ちょっと太めで、昔ながらの素朴な味わいが好評いただいております。日持ちはしますが、早めにお召し上がりいただければと存じます。それでは、今後ともよろしくお願いたします。

2015年4月1日 金谷 武志

日々の農作業の様子や地域の情報は、下記フェイスブックページ“有機栽培米の金谷農場”で発信中です！

<https://www.facebook.com/kanayafarm.jp>

ホームページ : <http://www.kanaya-farm.jp/>

Eメール : info@kanaya-farm.jp